

# 「NGNコストドライバの見直しに関するワーキンググループ」 開催要綱

## 1. 目的及び検討事項

NGNの優先パケット関係機能の接続料の算定に関し、複数の品質クラスの間で一般第一種指定中継系ルータ設備等の費用を配賦するためのコストドライバについては、平成30年度（2018年度）に適用される接続料において「優先クラス」と「ベストエフォートクラス」の間で単価に差異が生じないものを採用することとして総務大臣の認可が行われた一方、NTT東日本・西日本からは、「接続料の算定に関する研究会」（以下単に「研究会」という。）の平成30年（2018年）11月1日開催の第15回会合において、「優先クラス」と「ベストエフォートクラス」との間で単価の差異が生じるようコストドライバを見直したい旨の説明が具体的な見直し提案とともに行われた。しかしながら、当該提案については様々な指摘があり、なお詳細な検討を要する状況にある。

そこで、研究会の開催要綱に基づき、平成31年度（2019年度）以降の品質クラス別の接続料について適切なコストドライバを採用することに資する詳細な検討を行う「NGNコストドライバの見直しに関するワーキンググループ」を設けることとする。

## 2. 構成及び運営

- (1) 本ワーキンググループの構成員並びに主査及び主査代理は、別紙のとおりとする。
- (2) 主査は本ワーキンググループを招集し、主宰する。
- (3) 主査は、必要があるときは、構成員を追加し、又は外部の関係者に出席を求めて意見を聞くことができる。
- (4) 本ワーキンググループの検討内容は、事業者・団体以外の構成員が取りまとめる。
- (5) その他、本ワーキンググループの運営に必要な事項は、主査が定めるところによる。

## 3. 議事の取扱い

本ワーキンググループの議事は、公開することにより当事者又は第三者の権利及び利益並びに公共の利益を害するおそれがあると一般的に想定されるため、主査が別に適当と認めない限りにおいて非公開とする。ただし、各会合の開催日及び議題並びに本ワーキンググループの検討結果については、非公表とすることに正当な理由がある部分を除き、公表するものとする。

## 4. 開催期限

この開催要綱は、平成31年度（2019年度）に適用される品質クラス別の接続料の認可が行われるまで、効力を有する。

## 5. 庶務

本ワーキンググループの庶務は、総務省総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課が行う。

(別紙)

## 「NGNコストドライバの見直しに関するワーキンググループ」 構成員

(五十音順、敬称略)

(◎は主査、○は主査代理)

◎相田 仁 (東京大学大学院工学系研究科教授)

○酒井 善則 (東京工業大学名誉教授・津田塾大学総合政策学部客員教授)

関口 博正 (神奈川大学経営学部教授)

東日本電信電話株式会社

西日本電信電話株式会社

KDDI株式会社

ソフトバンク株式会社